

Etherbound

『Etherbound』（エーデルバウンド）は、『鵠幻白装エーデルヴァイス』の外伝にあたる黒歴史小説シリーズ。全4巻。著作はかざね氏。他のシリーズではあまり言及されていなかった箱舟計画以外のテロメア・ドライブにスポットを当て、地球軍の戦争様式や内部事情を中心とした物語はシリーズの設定補完としての意味合いも強い。

I~IIIまでは異なる時間軸・戦場を舞台とした物語が描かれるが、エバーグリーン作戦の詳細を描いたIVではこれまでの主人公たちが集結し、張り巡らされた伏線も一つに纏まることになる。

-
- [概要](#)
 - [シリーズ解説](#)
 - [Etherbound I](#)
 - [Etherbound II](#)
 - [Etherbound III](#)
 - [Etherbound IV](#)
-

概要

「第七世代戦闘機」。ニューロフォビア戦争の本格化に向け設計開発されたテロメア・ドライブ群の総称である。新世界連合の深淵とも言える「ノアの箱舟」から誕生したテロメア・ドライブには遠く及ばぬこれらの機体だが、それを駆る戦士たちの物語に貴賤は無い。今日もまた、何処かの戦場で、誰かの命が散る……。
(裏表紙より)

シリーズ解説

Etherbound I

Etherbound II

Etherbound III

Etherbound IV